



ヒルズボロの現状

2016

オレゴンで5番目に大きな都市であるヒルズボロ市は、ポートランドのダウンタウンから29キロメートル西に離れた場所にあり、人口は約97,000人です。ヒルズボロはポートランド・メトロポリタンエリアの重要な構成をなすひとつの地区にあたり、約230万人の人口を占める地域の一部です。

ポートランド地区の経済は今後3年間にわたり急激な成長が期待されており、大都市統計地域年間純生産率は7.3%で全米第2位です。また、この地域は、ビジネスコスト、雇用の増加、および教育が評価され、2015年フォーブズベストプレイスフォービジネスで第3位になりました。2014年、この地域でのアメリカ国内のテクノロジー生産量は、カリフォルニア州のサンノゼに引き続き、全米第2位になっています。ヒルズボロは、生産とテクノロジー業界に長けた経済の基盤を持ち、これからもポートランド・メトロポリタンエリアの、そしてオレゴン州の経済のエンジンであり続けることでしょう。私たちのビジョンはヒルズボロをハイテクイノベーションのための世界クラスのロケーションにすることです。

ヒルズボロはシリコンフォレストの中心にあり、**インテル**、**クオヴオ**（トライクェントセミコンダクタ）、**ジェネンテック**、**FEI** や**ソーラーワールド**などのオレゴン内では最大級のテクノロジー企業がヒルズボロを拠点にしています。テクノロジーや製造で知られているヒルズボロですが、最近ではデータセンターなど新しい事業が育ってきており、この地域にテクノロジーの多様性を付加しています。データの収集、保管、処理が今日のビジネスの主要な一部となる中で、**アドビ**、**ヴィアウエスト**、**デジタルリアリティトラスト**などのデータセンターがヒルズボロに建設され、様々な企業にサービスを提供しています。強固な光ファイバーインフラ、高品質の電力、豊富な水資源により、ヒルズボロはテクノロジーに特化した企業にとって最適な立地となっています。

ヒルズボロはテクノロジーセンター以外の特徴もあります。世界で最も品質の良い野球のバットメーカーの**ディマリニスポーツ**は、ヒルズボロ市の地元企業として創業し、今は北米で最もよく知られているスポーツ用品ブランドのひとつ、**ウィルソンスポーツ**の子会社です。ディマリニスポーツは、ヒルズボロの製造工場、パフォーマンスの高い野球とソフトボール用のバットを世界中のプレイヤーに向けて生産しています。また、**アキュームド**は、家族で始めた小さな会社でしたが、現在は世界中に整形外科を専門とした医療機器を提供するグローバル企業に育ちました。現在もヒルズボロに本社を置き、外傷性障害の再生治療で使用するネジやプレートなどの医療部品を設計、製造しています。アキュームドの約500人の従業員がヒルズボロ市で働いています。

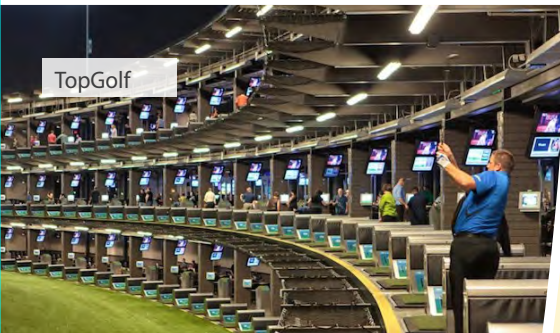
ヒルズボロ市は、ここに拠点を置く企業のサポートや新企業を誘致することで、世界クラスの経済へ発展することに力を入れています。

Majestic Brookwood Business Park



Image courtesy of Perlo Construction

TopGolf



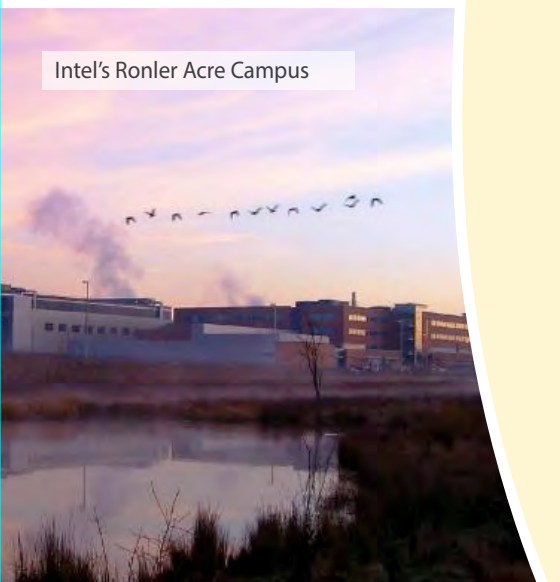
Nike



Reser's Fine Foods



Intel's Ronler Acre Campus



経済発展

- ・ マジェスティックブルックウッド・ビジネスパークは、ヒルズボロの30ヘクタールの土地に造られた、最も新しい工業開発地帯です。土地の所有および開発を行うマジェスティック不動産は、全米で最も広い工業用私有地を持つ会社です。現在、22,871平方メートルの建物を建設中で、今後近いうちに9,290平方メートルの建物2棟の建築を行う予定です。また、ヴィアウエスト社のデータセンターとして13,006平方メートルの建物を建設中であり、ゴルフなどの総合娯楽施設を手がけるトップゴルフの建物も建設中です。
- ・ アメリカに10ヶ所、イギリスに3ヶ所の拠点を持つエンターテインメント会社のトップゴルフが、マジェスティックブルックウッド・ビジネスパーク内の6ヘクタールの土地に、5,110平方メートルある施設を7月に建設する予定です。トップゴルフのゴルフボールには、プログラム可能なRFID シリコンチップが埋め込まれており、コード化され個人のプレイヤーに割り当てられています。
- ・ ナイキはオレゴン州に本社を持つ会社としては最大で、フォーチン500に入る会社で、ヒルズボロの東に位置しています。現在、推定3億8千万ドルを超える投資となる、297,289平方メートルの新しい場所への建設を進めています。拡張工事は2018年に完了する予定です。ナイキは、ワシントン地区に9,000人を超える従業員を抱えており、そのうち2,000人がヒルズボロの従業員です。
- ・ リーザーファインフーズは、新鮮な加工食品製造のトップ企業で、最近ヒルズボロに28,800平方メートルの施設を完成させました。この施設は、同社の生産拠点の中でも最先端の施設で、300人を超える従業員が働いています。ここで生産された製品は、ヒルズボロからアメリカ西部、メキシコ、カナダへ出荷されています。リーザーズは、アメリカとメキシコに16の加工施設を持ち、北米で働いている従業員は4,800人を超えます。
- ・ ヒルズボロテクノロジーパークは、ヒルズボロ市の議会から承認を得て、この地域のインフラ整備と経済に関する戦略的計画を立てています。公園内の312ヘクタールの利用可能な土地は、引き続きすぐに開発可能な場所となっています。

交通機関

- ・ 3,000万ドル分の改善が施されたUSハイウェイ26ブルックウッド・インターチェンジは2016年6月に完成する予定です。このインターチェンジはヒルズボロ・テクノロジーパークへのメインのアクセス道路になります。
- ・ エバーグリーンロードとUSハイウェイインターチェンジ間を拡張するブルックウッド・パークウェイは、道路のレーンが両方向に2本ずつ増えることになり、工業地帯の交通をよりスムーズに進めるようになります。建設工事は2016年12月に完成する予定です。
- ・ ヒルズボロのUSハイウェイ26の道路拡張プロジェクトは、2016年秋に開始予定で、交通渋滞を解消し、交通量を増やすことが期待されています。このプロジェクトで、USハイウェイ26は、道路のレーンが両方向に3本ずつ増えることになります。工事は2018年秋に完了予定です。

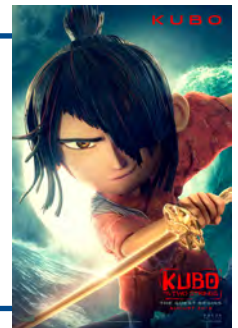


主要なビジネス

インテルは、オレゴン州に19,000人近くの従業員を抱えており、そのほとんどがヒルズボロ地区で働いています。これはオレゴン州の雇用の1%に相当し、インテルの賃金の平均は、オレゴン州の平均賃金の約2.5倍となっています。インテルは引き続きオレゴン州の経済の支えとなり、世界の半導体事業で最も進んだ研究および製品開発センターであり続けます。インテルはまた、ワシントン郡で最大の固定資産税納税企業で、2015年には約3,600万ドルを支払いました。インテルがオレゴン州に最初に土地を購入した1974年以降、インテルはオレゴン州に25兆ドルを超える投資を行っています。インテルの最近の建物建設は、過去12年間建設を行わなかった新しいオフィスビルの建設で、214ヘクタールのローナーエーカーズ・キャンパス内の7階建ての92,903平方メートルのオフィスおよび生産サポートビルです。



ライカスタジオは、ヒルズボロに本社があり、Coraline (2009年)、ParaNorman (2012年) Boxtrolls (2014年) などのストップモーションフィルムで知られていますが、現在の敷地内に、9,290平方メートルの建物を追加建設中です。建設中の建物により、オスカー賞を受賞した3Dプリンター事業の拡張が可能となります。ライカの最新フィルムであるKuboとTwo Stringsは、原作脚本をもとに作成した作品で、日本の古い神話の世界を舞台にして、少年が、伝説の侍である亡くなった父親が身につけていた魔法の鎧を探し出すというストーリーです。映画は、2016年8月に公開予定です。



アメリカ最大のソーラーパワー発電会社のソーラーワールドは、最近、9,755平方メートルの遊休スペースを、今よりも、年間150メガワット多く発電できる発電施設に転換しました。新しいスペースの開発により、ソーラーワールドの従業員は200人増加し900人となります。同社は2017年にも同様の拡張を行う予定で、100メガワット発電量を増やします。

The Platform District at Orenco



The Platform District at Orenco



Hillsboro Civic Center



宿泊施設

- ・ タナズボーン周辺にエンバシー・スイーツとハンプトン・インが300部屋オープンします。
- ・ ブルックウッド・パークウェイの近くにあるドーソンクリーク・コーポレートパーク周辺にもマリオット・レジデンスインが140部屋さらにオープンします。
- ・ 現在建築中のホテルは以下です。ステイブリッジ・スイート(80部屋)、ホリデイインとキャンドルウッド・スイート(300部屋)、オックスフォード・スイートホテル(240部屋)、アンバーグレン・アロフトホテル(136部屋)。これらの建設が完了すると、ヒルズボロのホテルの部屋数は、約2倍になります。

住宅

- ・ オレンコ・コミュニティには、オレンコステーション・プラットフォーム地区があり、公共交通機関であるライトレールの駅まで歩ける範囲内に、1,000軒以上の住宅と小売店、コミュニティスペースなどがあります。この住宅地は、北米積水ハウスと合弁事業を行っているホランドパートナーズが開発しました。
- ・ その他、オーチャード・オレンコには、アクティブな冷暖房システムを使用しない、非常にエネルギー効率の良いプロジェクトであるパッシブハウスのエネルギー標準で建設された約60軒の住宅ユニットがあります。この住宅地は、米国最大の複数の家族が住むパッシブハウスです。
- ・ ヒルズボロ市の最大の住宅地である南ヒルズボロはさらに発展しています。住宅開発に不可欠な道路インフラの整備が進められています。新しいコミュニティには、2万人分の住宅が追加されます。約8,000軒の家、ショッピングセンターと商業地、学校、約300エーカーの公園と、15マイルのトレイルコースが計画されています。このプロジェクトの一部は、アメリカンニューランド・コミュニティーズ、北米積水ハウス、およびインスティテューショナル・ハウジングパートナーズの合弁事業となっています。南ヒルズボロは、ヒルズボロの将来発展のニーズを満たすコミュニティとなるでしょう。

教育

- ・ ヒルズボロ学区では、科学、テクノロジー工学、数学 (STEM: Science, Technology Engineering, and Math) 関連の雇用が急激に増えたため、生徒達が将来、ヒルズボロコミュニティやヒルズボロ地区でよりよい生活が送れるよう、STEM リテラシーを身につける機会を与えることに焦点を当てています。この地区には、4つのSTEM 重点小学校があり、その他の学校では、STEMクラブやSTEMコースを用意したり、放課後のプログラムとして提供されています。小学生から高校生まで、700人を超える生徒が、STEM関連のプログラムに参加しています。STEM教育を始めてから2年目には、教育委員会がこの地域のSTEMプログラムに、25万ドルを投資しています。
- ・ ヒルズボロ市は過去4年間、ポートランドコミュニティカレッジ (PCC) の未来へ続くプログラムに年間10万ドルを投じています。このプログラムは、毎年ヒルズボロ地区の50の高校に、2年間の奨学金を提供しています。PCCは、ヒルズボロ地区に2つのキャンパスを持っています。



CONTACT:

Mark Clemons
Economic Development Director

City of Hillsboro
150 E Main Street
Hillsboro, Oregon
503-681-6177
mark.clemons@hillsboro-oregon.gov